

R6 授業改善へのアクション(地区としての取り組み)

教科の本質を捉えた**基礎・基本の確実な「習得」**を目指した授業づくりの日常実践

- ①各教科・単元において「習得」場面でおさえたい基礎・基本事項を明確にする。
- ②教科特性を踏まえた「見方・考え方」を働かせ、個の学びを保障しながら協働的な学びにおける対話の質を高める学習活動を仕組む。
- ③本時の学びを児童生徒が振り返り、学びを家庭学習につなげ、家庭学習での学びを授業に生かす。

教科におけるつけたい資質・能力を明確にした**適切な評価の実施**

- ①教科においてつけたい資質・能力を明確にした単元を構成する。
- ②具体的な評価規準を作成し、児童生徒と共有する。
- ③本時における子どもの学びを評価するための評価問題・活動を必ず実施し、児童生徒の学習改善・教師の指導改善に生かす。

児童生徒質問紙と学校質問紙の分析を行い、**校内研究のレベルアップ**につなげる

- ①児童生徒質問紙と学校質問紙の回答状況や相違点等について校内で共有し、改善、検証を継続して行う。
- ②日常の授業改善や定期的なアクションプランの見直しを行い、C(チェック)A(アクション)の充実を図る。
- ③目標達成に向けた、必然性のあるICTの活用を行う。